

第45回 ゴミパイプライン協議会

日時:令和6年6月1日(土)

10時00分～11時30分

場所:芦屋市環境処理センター会議室

1. パイプラインの運転方法等について【別紙資料】【時間設定:30分】

1) パイプラインの運転報告について(T)【資料①】

2) 令和5年度(2023年度)パイプライン運転に関する分析と今後の対策(利用者の会)【資料②】

2. 代替収集ロードマップ vol.3 【時間設定:合計 30 分】(市)

WGによってロードマップを【資料③】のとおり更新することになりました。

今後、2年間(R6,7)で複数の代替案の作成と評価基準の策定、代替案の評価が予定され、R8年度から2年間で代替案の決定と実証実験を行うことをWG内で確認しました。

1) 本年度 年間スケジュール 【時間設定:20分】(市)

代替案の作成と評価基準の策定のため、市のほうから次年度に原寸模型の制作を提案しましたが、利用者の会からは設計図によって検討可能であり、原寸模型は不要である旨意見をいただきました。これにより、次年度設計委託の予算を確保するようありましたので、本年度は設計事務所等のヒアリングによって費用を検討します。利用者の会から設計の際には、使い勝手が理解しやすいよう三次元モデリングによる資料提供が可能な設計者の要望がありました。

また、合わせて次年度の設計に向けて複数の代替案設計のもととなる基礎案を立案できるように、利用者の会から要望のある仕様書(代替施設の性能を網羅し、数あるゴミ集積方法に対し振るいをかけ適切な代替施設を抽出するフィルターの機能を持たすもの)を早期完成させ、多数のゴミ集積方法から基礎案を策定する予定です。

3. 令和6年度の目標【時間設定:20 分】

- 1) 利用者の会【資料④】
- 2) 芦屋市【資料⑤】

4. 次回協議会の予定 【時間設定:10 分】

10月の予算確定に向けて進めますので、その結果を踏まえた決定を協議会で行います。最終次年度の予算確保のため、10月末を目途に協議会を予定しています。

パイプライン運転報告《トラブル等対応記録》令和5年4月1日～令和6年3月31日

◆システム異常発報対応

システムが異常を発報したものであり、全地域もしくは系統もしくは個々の機器が停止したものです。

実際は発生していない費用です。
※目安単位（50円/人・分）

NO	月	日	曜日	時間	定時 運転	箇所 (セン)	町名	機器名 (大分類)	機器名 (小分類)	状態	レベル	確認 場所	トラブル確認状況	作業内容	作業 結果	作業 人数	作業 時間	工数 (人)	労務費 (円)	住民 起因	システム異常/ 巡回・定期点検	備考
1	4	3	月	17:12	—	センター	浜風町	センター	ブロウ	その他	B	現場	その他	点検・確認	復旧	2	40	80	4,000	—	システム異常	風量制御装置異常
2	4	4	火	5:46	○	8029	若葉町	投入口地下部	排出機弁	閉異常	A	モニタ	モニタ詳細確認	故障解除操作	復旧	1	1	1	50	—	システム異常	
3	4	8	土	7:25	—	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	レベル計調整	復旧	2	2	4	200	—	システム異常	
4	4	10	月	6:06	○	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	レベル計調整	復旧	2	2	4	200	—	システム異常	
5	5	1	月	7:20	○	800	若葉町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	A	モニタ	モニタ詳細確認	故障解除操作	復旧	1	2	2	100	—	システム異常	
6	5	2	火	7:44	○	12031	潮見町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	点検・確認	復旧	2	5	10	500	—	システム異常	
7	5	2	火	16:57	—	8019	若葉町	投入口地下部	排出機弁	閉異常	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	システム異常	
8	5	3	水	5:45	○	8019	若葉町	投入口地下部	排出機弁	閉異常	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	65	130	6,500	—	システム異常	
9	5	3	水	16:46	—	300	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	30	60	3,000	—	システム異常	
10	5	4	木	6:09	○	400	高浜町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	43	86	4,300	—	システム異常	
11	5	25	木	5:57	○	3054	浜風町	投入口地下部	排出機弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	23	46	2,300	—	システム異常	
12	5	26	金	16:45	—	300	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	25	50	2,500	—	システム異常	
13	5	30	火	16:11	—	300	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	17	34	1,700	—	システム異常	
14	6	14	水	8:55	—	11062	緑町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	7	14	700	—	システム異常	
15	6	14	水	19:40	—	12143	潮見町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	23	46	2,300	—	システム異常	
16	6	14	水	20:42	—	300	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	16	32	1,600	—	システム異常	
17	6	16	金	17:37	—	600	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	23	46	2,300	—	システム異常	
18	6	19	月	6:48	○	センター	浜風町	センター	分離機	その他	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	41	82	4,100	—	システム異常	
19	6	23	金	5:52	○	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	6	12	600	—	システム異常	
20	6	26	月	9:44	—	11091	緑町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	4	8	400	—	システム異常	
21	6	26	月	15:39	—	12011	潮見町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	その他	点検・確認	復旧	2	9	18	900	—	システム異常	排出弁リミットセンサー異常
22	6	29	木	16:20	—	30188	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	ごみ詰り	B	現場	レベル計に汚れ付着	ドラム逆・正転運転	復旧	2	11	22	1,100	—	システム異常	
23	7	7	金	10:51	—	浜・沖地区	海洋町	投入口地下部	貯留ドラム	停電・過電流	B	現場	停電	点検・確認	復旧	2	64	128	6,400	—	システム異常	

24	7	7	金	13:10	—	3200	海洋町	遮断弁地下部	遮断弁	伝送異常	B	現場	停電	点検・確認	復旧	2	15	30	1,500	—	システム異常	
25	7	7	金	13:10	—	3300	海洋町	遮断弁地下部	遮断弁	伝送異常	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	30	60	3,000	—	システム異常	
26	7	7	金	14:42	—	32058	南浜町	投入口地下部	貯留ドラム	その他	B	現場	ブレーカートリップ	点検・確認	復旧	2	14	28	1,400	—	システム異常	
27	7	15	土	14:19	—	300	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	弁体に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	22	44	2,200	—	システム異常	
28	7	19	水	17:00	—	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	—	システム異常	
29	7	22	土	5:58	○	300	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	18	36	1,800	—	システム異常	
30	7	31	月	5:40	○	センター	浜風町	センター	その他	その他	B	現場	弁体に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	54	108	5,400	—	システム異常	
31	8	4	金	6:40	○	センター	浜風町	センター	プロウ	閉異常	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	50	100	5,000	—	システム異常	
32	8	18	金	16:48	—	300	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	弁体に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	14	28	1,400	—	システム異常	
33	8	19	土	5:40	○	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	モニタ	レベル計に汚れ付着	レベル計清掃	復旧	2	6	12	600	—	システム異常	
34	8	22	火	15:19	—	5089	高浜町	投入口地下部	排出機弁	閉異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	12	24	1,200	—	システム異常	
35	8	28	月	8:00	—	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	レベル計清掃	復旧	2	10	20	1,000	—	システム異常	
36	8	30	水	14:59	—	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	—	システム異常	
37	8	31	木	7:30	—	30178	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	呑込異常	B	現場	その他	ごみ除去・清掃	復旧	2	40	80	4,000	—	システム異常	塵芥内部汚れ
38	9	4	月	9:20	—	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	—	システム異常	
39	9	4	月	6:28	○	11031	緑町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	7	14	700	—	システム異常	
40	9	5	火	13:58	—	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	—	システム異常	
41	9	9	土	17:24	—	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	11	22	1,100	—	システム異常	
42	9	11	月	6:46	○	300	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	給脂	復旧	2	7	14	700	—	システム異常	
43	9	26	火	12:06	—	12103	潮見町	投入口地下部	排出弁	その他	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	79	158	7,900	—	システム異常	
44	9	27	水	10:59	—	3000	陽光町	遮断弁地下部	遮断弁	その他	A	モニタ	停電	故障解除操作	復旧	1	2	2	100	—	システム異常	
45	9	27	水	10:59	—	3100	海洋町	遮断弁地下部	遮断弁	その他	A	モニタ	停電	故障解除操作	復旧	1	2	2	100	—	システム異常	
46	10	5	木	5:50	○	5019	高浜町	投入口地下部	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	貯留槽にごみ詰り・残留	ごみ除去・清掃	復旧	2	11	22	1,100	—	システム異常	
47	10	24	火	16:09	○	12011	潮見町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	—	システム異常	
48	11	3	金	5:37	○	12021	潮見町	投入口地下部	排出弁	ごみ詰り	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	—	システム異常	
49	11	6	月	13:55	×	600	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	弁体に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	50	100	5,000	—	システム異常	
50	11	8	水	6:36	○	3113	新浜町	投入口地下部	吸気弁	閉異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	20	40	2,000	—	システム異常	
51	11	13	月	7:47	×	30188	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	呑込異常	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	6	12	600	—	システム異常	
52	11	13	月	6:11	○	12031	潮見町	投入口地下部	吸気弁	開異常	B	現場	ブレーカートリップ	故障解除操作	復旧	2	5	10	500	—	システム異常	
53	11	17	金	5:56	×	30078	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	呑込異常	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	40	80	4,000	—	システム異常	
54	11	18	土	15:43	○	30048	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	16	32	1,600	—	システム異常	

55	11	18	土	17:28	×	30158	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	17	34	1,700	－	システム異常	
56	11	21	火	6:32	○	11031	緑町	投入口地下部	吸気弁	閉異常	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	－	システム異常	
57	11	23	木	5:31	×	600	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	開異常	B	現場	弁体に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	20	40	2,000	－	システム異常	
58	11	25	土	5:59	×	6041	浜風町	投入口地下部	吸気弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	20	40	2,000	－	システム異常	
59	12	2	土	6:01	×	30078	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	呑込異常	B	現場	その他	ごみ除去・清掃	復旧	2	35	70	3,500	－	システム異常	呑込み口付近にごみ付着
60	12	7	木	5:43	○	8019	若葉町	投入口地下部	排出機弁	開異常	B	現場	ブレーカートリップ	給脂	復旧	2	20	40	2,000	－	システム異常	
61	12	15	金	15:08	○	12011	潮見町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	34	68	3,400	－	システム異常	
62	12	19	火	6:25	○	12061	潮見町	投入口地下部	排出弁	開異常	B	現場	ブレーカートリップ	給脂	復旧	2	15	30	1,500	－	システム異常	
63	12	20	水	19:11	×	30038	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	呑込異常	B	現場	その他	ごみ除去・清掃	復旧	2	50	100	5,000	－	システム異常	呑込み口付近にごみ付着
64	12	28	木	21:34	×	30178	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	呑込異常	B	現場	その他	ごみ除去・清掃	復旧	2	50	100	5,000	－	システム異常	呑込み口付近にごみ付着
65	1	5	金	15:36	○	センター	浜風町	センター	貯留ドラム	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	9	18	900	－	システム異常	
66	1	26	金	5:30	○	600	浜風町	遮断弁地下部	遮断弁	閉異常	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	－	システム異常	バッテリー交換ランプ点灯の為
67	2	9	金	6:28	○	12031	潮見町	投入口地下部	排出弁	開異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	－	システム異常	
68	2	19	月	6:36	○	3113	新浜町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	－	システム異常	
69	3	4	月	6:44	○	11101	緑町	投入口地下部	排出弁	開異常	B	現場	ブレーカートリップ	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	－	システム異常	
70	3	4	月	6:08	○	400	高浜町	遮断弁地下部	遮断弁	開異常	B	現場	弁体に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	－	システム異常	
71	3	5	火	6:18	○	11063	潮見町	投入口地下部	排出弁	開異常	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	－	システム異常	
72	3	8	金	6:34	○	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	－	システム異常	
73	3	13	水	15:11	○	12011	潮見町	投入口地下部	排出弁	開異常	B	現場	排出弁にごみかみ込み	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	－	システム異常	
74	3	27	水	5:50	○	400	高浜町	遮断弁地下部	遮断弁	開異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	－	システム異常	
75	3	27	水	6:26	○	11062	緑町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	ブレーカートリップ	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	－	システム異常	
76	3	27	水	8:46	×	センター	浜風町	センター	スクリュウ	ブリッジ	B	現場	レベル計に汚れ付着	ごみ除去・清掃	復旧	2	15	30	1,500	－	システム異常	
77	3	28	木	10:02	×	12121	潮見町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	30	60	3,000	－	システム異常	

※システム停止とはセンターの監視抑制システムが停止したものです。その他についても、その投入口もしくはその系統が停止しています。

※作業時間は、現場までの行き帰りの時間も含みます。

※定時（運転）中かどうかは、異常発生時刻より判断しています。

★ 4月1日～ 3月31 日 R5年：77件 R4年：99件 R3年：210件

パイプライン運転報告《トラブル等対応記録》令和5年4月1日～令和6年3月31日

◆利用者からの連絡対応

利用者からの電話・メール等による問い合わせに対応したものです。

実際は発生していない費用です。
※目安単位（50円/人・分）

NO	月	日	曜日	時間	定時 運転	箇所 (セン)	町名	機器名 (大分類)	機器名 (小分類)	状態	レベル	確認 場所	トラブル確認状況	作業内容	作業 結果	作業 人数	作業 時間	工数 (人)	労務費 (円)	住民 起因	システム異常/ 巡回・定期点検	備考
1	4	24	月	9:15	—	8079	若葉町	投入口地上部	マクリット	その他	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	2	4	200	—	問い合わせ対応	
2	4	25	火	11:30	—	11041	緑町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	2	4	200	—	問い合わせ対応	
3	5	6	土	12:35	—	3051	浜風町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
4	5	15	月	16:30	—	12111	潮見町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	問い合わせ対応	
5	5	15	月	11:10	—	10029	若葉町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴引っ掛かり	給脂	復旧	2	10	20	1,000	—	問い合わせ対応	
6	5	17	水	9:45	—	11062	緑町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
7	5	20	土	10:10	—	12091	潮見町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
8	5	29	月	9:55	—	12051	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
9	6	5	月	11:00	—	11062	緑町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
10	6	5	月	13:10	—	11063	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
11	6	8	木	10:15	—	12121	潮見町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
12	6	8	木	10:50	—	11063	潮見町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	35	70	3,500	—	問い合わせ対応	
13	6	12	月	12:05	—	12032	潮見町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	30	60	3,000	◎	問い合わせ対応	
14	6	13	火	9:45	—	11063	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	30	60	3,000	◎	問い合わせ対応	
15	6	19	月	9:30	—	3111	新浜町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	12	24	1,200	◎	問い合わせ対応	
16	6	20	火	9:10	—	3031	浜風町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	6	12	600	◎	問い合わせ対応	
17	7	3	月	9:52	—	8019	若葉町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	コインマスター不良	コインマスター交換	復旧	2	30	60	3,000	—	問い合わせ対応	
18	7	6	木	16:00	—	4019	高浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	コインマスター不良	給脂	復旧	2	10	20	1,000	—	問い合わせ対応	
19	7	6	木	16:10	—	4029	高浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	コインマスター不良	給脂	復旧	2	10	20	1,000	—	問い合わせ対応	
20	7	8	土	12:04	—	3113	新浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
21	7	13	木	9:19	—	12032	潮見町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	30	60	3,000	—	問い合わせ対応	
22	7	14	金	10:42	—	11031	緑町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	50	100	5,000	—	問い合わせ対応	
23	7	14	金	13:36	—	12121	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	

24	7	21	金	15:37	—	5049	高浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	15	30	1,500	◎	問い合わせ対応	
25	7	25	火	10:37	—	12121	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
26	7	29	土	9:05	—	12143	潮見町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	3	6	300	◎	問い合わせ対応	
27	7	31	月	9:45	—	12032	潮見町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	45	90	4,500	—	問い合わせ対応	
28	8	1	火	9:18	—	11041	緑町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
29	8	7	月	9:40	—	5059	高浜町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
30	8	9	水	11:17	—	3051	浜風町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
31	8	17	木	9:00	—	12031	潮見町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
32	8	18	金	11:50	—	8049	若葉町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	コインマスター不良	コインマスター交換	復旧	2	80	160	8,000	—	問い合わせ対応	
33	9	1	金	10:50	—	10029	若葉町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴引っ掛かり	給脂	復旧	2	10	20	1,000	—	問い合わせ対応	
34	9	12	火	9:02	—	11062	緑町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
35	9	12	火	14:00	—	12021	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
36	9	19	火	10:14	—	12121	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
37	9	20	水	11:12	—	11051	緑町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
38	9	23	土	10:45	—	11031	緑町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
39	9	25	月	10:45	—	3071	新浜町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
40	9	26	火	10:53	—	3052	浜風町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
41	9	27	水	9:00	—	3071	新浜町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
42	9	30	土	9:25	—	3081	新浜町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	30	60	3,000	◎	問い合わせ対応	
43	10	2	月	10:15	—	12111	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
44	10	4	水	9:10	—	11051	緑町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
45	10	5	木	15:40	—	3071	新浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
46	10	10	火	15:30	—	3071	新浜町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
47	10	11	水	11:00	—	12031	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
48	10	14	土	16:35	—	5089	高浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
49	10	19	木	14:10	—	11031	緑町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
50	10	30	月	16:00	—	3071	新浜町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
51	11	1	水	11:02	—	12051	潮見町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	問い合わせ対応	
52	11	4	土	13:10	—	5049	高浜町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	貯留槽にごみ詰り・残留	運転実施にてごみ搬送	復旧	2	15	30	1,500	—	問い合わせ対応	
53	11	7	火	9:05	—	12011	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
54	11	21	火	16:00	—	3031	浜風町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	

55	11	24	金	14:45	—	3072	新浜町	投入口地上部	バケツ	閉まらない	B	現場	バケツ下にゴミ詰り	ゴミ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
56	12	4	月	13:50	×	33018	海洋町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴引っ掛かり	給脂	復旧	2	10	20	1,000	—	問い合わせ対応	
57	1	4	木	9:15	—	11051	緑町	投入口地上部	バケツ	閉まらない	B	現場	バケツ下にゴミ詰り	ゴミ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
58	1	12	金	10:30	—	8059	若葉町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
59	1	15	月	12:35	—	12111	潮見町	投入口地上部	バケツ	回らない	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	115	230	11,500	—	問い合わせ対応	
60	1	26	金	13:44	—	12011	潮見町	投入口地上部	バケツ	閉まらない	B	現場	バケツ下にゴミ詰り	ゴミ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	◎	問い合わせ対応	
61	1	27	土	9:00	—	11149	緑町	投入口地上部	カギ	その他	B	現場	コインマスター不良	コインマスター交換	復旧	2	60	120	6,000	◎	問い合わせ対応	鍵にさし間違いの為抜けず
62	2	1	木	17:30	—	8059	若葉町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴"開"の状態	合カギで正位置にもどす	復旧	2	5	10	500	◎	問い合わせ対応	
63	2	26	月	9:22	—	30128	陽光町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	90	180	9,000	—	問い合わせ対応	
64	3	21	木	16:25	—	3159	新浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	コインマスター不良	コインマスター交換	復旧	2	60	120	6,000	—	問い合わせ対応	

※作業時間は、日報に記載されていないものは、おおむねの時間を聞き取って記入しています

★4月1日～3月31 日 R5年：64件 R4年：34件 R3年：87件

パイプライン運転報告《トラブル等対応記録》令和5年4月1日～令和6年3月31日

◆巡回及び定期点検で発見された不具合
巡回及び定期点検時に発見されたものです。

実際は発生していない費用です。
※目安単位（50円/人・分）

NO	月	日	曜日	時間	定時 運転	箇所 (セン)	町名	機器名 (大分類)	機器名 (小分類)	状態	レベル	確認 場所	トラブル確認状況	作業内容	作業 結果	作業 人数	作業 時間	工数 (人)	労務費 (円)	住民 起因	システム異常/ 巡回・定期点検	備考
1	4	3	月		—	5049	高浜町	投入口地上部	バケット	異音	B	現場	ショックアブソーバー不良	ショックアブソーバー調整	復旧	2	10	20	1,000	—	巡回定期点検	
2	4	10	月		—	12081	潮見町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
3	4	17	月		—	12081	潮見町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴引っ掛かり	給脂	復旧	2	5	10	500	—	巡回定期点検	
4	5	23	火		—	I-G-1	浜風町	点検口地下部	輸送管	浸水	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
5	6	26	月		—	3031	浜風町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	バケット下にごみ詰り	ごみ除去・清掃	復旧	2	10	20	1,000	—	巡回定期点検	
6	6	30	金		—	センター	浜風町	センター	貯留ドラム	その他	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
7	7	28	金		—	12011	潮見町	投入口地下部	排出弁	その他	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
8	8	4	金		—	12061	潮見町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	カギ穴引っ掛かり	給脂	復旧	2	10	20	1,000	—	巡回定期点検	
9	8	25	金			11101	緑町	投入口地上部	その他	その他	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
10	8	31	木		—	12051	潮見町	投入口地下部	排出弁	その他	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
11	10	2	月		—	12141	潮見町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	ショックアブソーバー不良	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	—	巡回定期点検	
12	10	16	月		—	4019	高浜町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	コインマスター不良	コインマスター交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
13	10	16	月		—	4049	高浜町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	30	60	3,000	—	巡回定期点検	
14	10	16	月		—	11111	潮見町	投入口地上部	バケット	開かない	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	30	60	3,000	—	巡回定期点検	
15	10	17	火		—	11062	緑町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	ショックアブソーバー不良	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	—	巡回定期点検	
16	11	7	火		—	8079	若葉町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	ショックアブソーバー不良	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	—	巡回定期点検	
17	11	7	火		—	10019	若葉町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	ショックアブソーバー不良	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	—	巡回定期点検	
18	11	20	月		—	33128	陽光町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	コインマスター不良	コインマスター交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
19	11	29	水		—	センター	浜風町	センター	プロワ	開異常	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
20	11	30	木		—	12031	潮見町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	—	巡回定期点検	
21	12	1	金		—	12031	潮見町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	
22	12	1	金		—	3052	浜風町	投入口地上部	マクリット	その他	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	30	60	3,000	—	巡回定期点検	表示灯部分が劣化で見えにくい
23	12	18	月		—	6051	浜風町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	コインマスター不良	コインマスター交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	

24	12	19	火		—	32058	南浜町	投入口地下部	貯留ドラム	その他	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	—	巡回定期点検	バッテリー交換ランプ点灯の為
25	12	19	火		—	33068	海洋町	投入口地下部	貯留ドラム	その他	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	—	巡回定期点検	バッテリー交換ランプ点灯の為
26	12	31	日		—	11041	緑町	投入口地下部	排出弁	閉異常	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	—	巡回定期点検	
27	1	4	木		—	30128	陽光町	投入口地上部	バケット	閉まらない	B	現場	部品の劣化（機械）	部品交換	復旧	2	40	80	4,000	—	巡回定期点検	
28	1	22	月		—	30088	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	その他	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	バッテリー交換ランプ点灯の為
29	1	22	月		—	30138	陽光町	投入口地下部	貯留ドラム	その他	B	現場	部品の劣化（電気）	部品交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	バッテリー交換ランプ点灯の為
30	2	26	月		—	30118	陽光町	投入口地上部	カギ	回らない	B	現場	コインマスター不良	コインマスター交換	復旧	2	60	120	6,000	—	巡回定期点検	

※年次点検は、年間を通して点検箇所を定めて計画的に行っているため、年に一度しか点検しない箇所もあります。

★4 月1日～3月31 日 R5年：30 件 R4年：118件 R3年：183件

【資料 1】

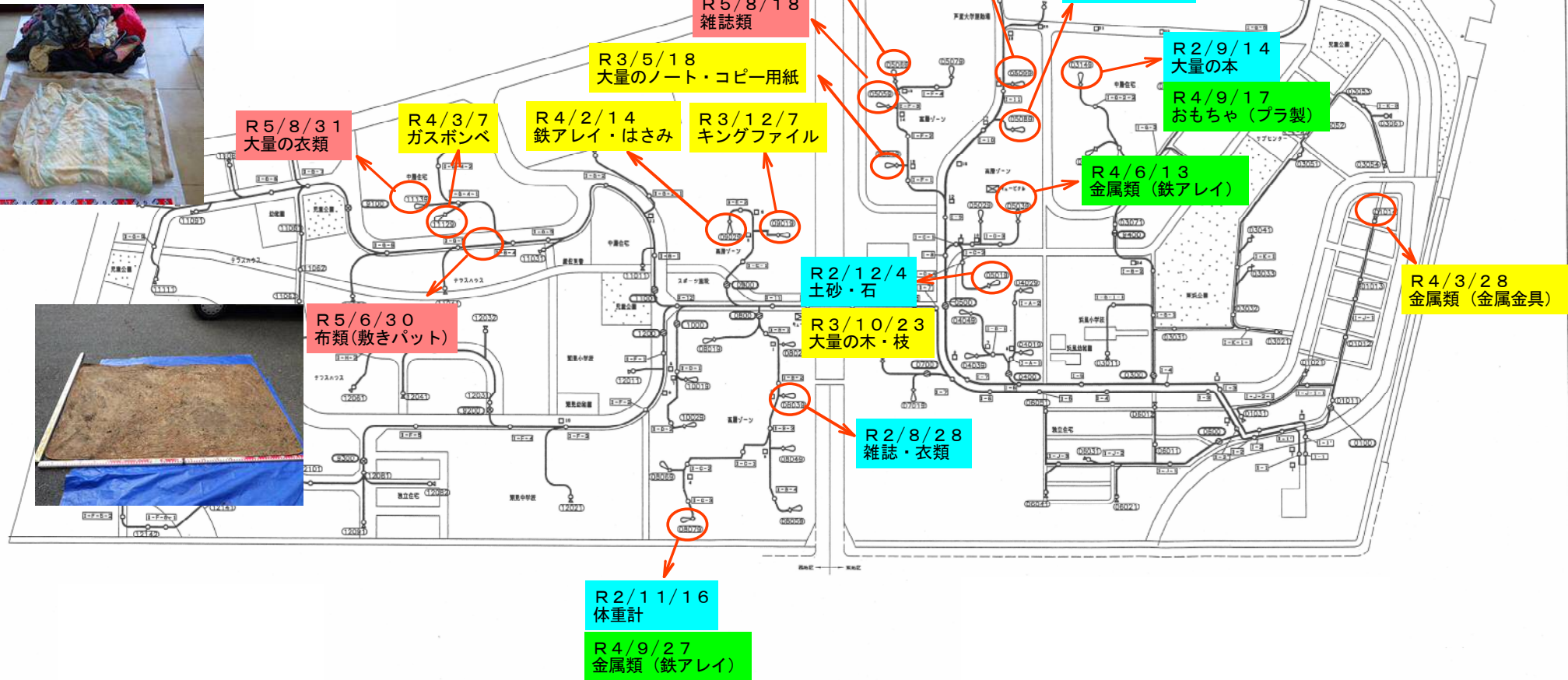
⇒ 啓発した投入口（令和2年度）【5件】

⇒ 啓発した投入口（令和3年度）【7件】

⇒ 啓発した投入口（令和4年度）【5件】

⇒ 啓発した投入口（令和5年度）【5件】

啓発した投入口が特定できた場所のみを記載しております。
※復旧作業中に発見された場合などの特定の投入口出来なかったもの（複数の投入口の場合）は除く。



潮 芦 屋 浜 地 区

維持管理対象地区機械室及び人孔等位置図

維持管理対象箇所数

施設名	名 称	実用箇所
○	高 圧 弁 (電 動)	5
□	貯 留 タ ン ク	31
○	人 孔 (点検口)	63
■	ハ ン ド ホール	50



R4/6/29
新聞紙



令和5年度(2023年度)パイプライン運転に関する分析と今後の対策

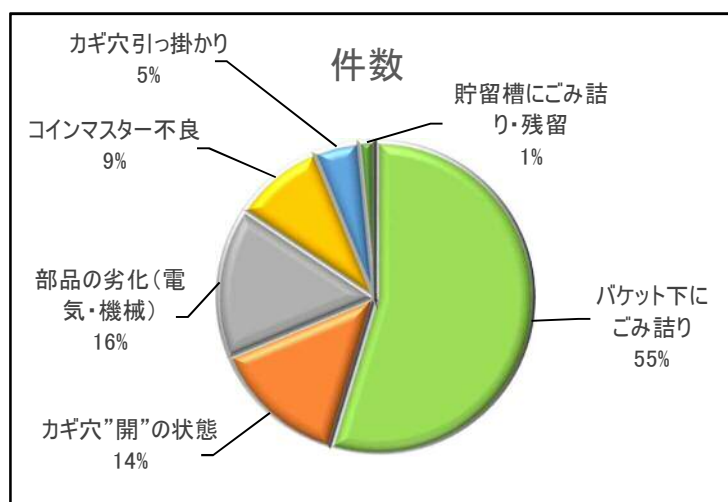
1. パイプライン運転報告

● 利用者からの問い合わせ情報について(トラブル内容別)

	トラブル内容	件数	原因	対応	労務費
1	バケット下にごみ詰り	35 件	ごみの捨て方	現場でのごみ除去・清掃	32,800 円
2	カギ穴”開”の状態	9 件	カギを途中で抜く	現場で合カギで正位置にもどす	7,800 円
3	部品の劣化(電気・機械)	10 件	開かない & 回らない	部品交換	48,900 円
4	コインマスター不良	6 件	回らない	給脂 & 交換	25,000 円
5	カギ穴引っ掛かり	3 件	回らない	給脂	3,000 円
6	貯留槽にごみ詰り・残留	1 件	閉まらない	運転実施にてごみ搬送	1,500 円
7	合計	64 件			119,000 円

- 全部で 64 件の問い合わせがあり、総額 119,000 円の労務費が発生しました。令和4年度は 34 件の問い合わせがありましたが、特に、「バケット下のごみ詰まり」と「カギ穴の「開」状態」に関する問い合わせが 45 件となり、全体の約 70% を占めています。この事実は、ごみの捨て方やカギの取り扱いに関する利用者へのさらなる啓蒙が必要であることを示しています。これらの問題への具体的な対策案を検討し、改善に向けた取り組みを進めることが求められます。

- バケット下のごみ詰まり: 全 35 件。主な原因は不適切なごみの捨て方にあります。対応策として、現場でのごみの除去および清掃を行い、その労務費用として 32,800 円がかかりました。



- カギ穴の「開」状態: 全 9 件。この問題は、利用者がカギを途中で抜くことによって生じます。対応として、現場で合カギを用いて正しい位置に戻しました。この作業には 7,800 円が必要でした。

● 利用者からの問い合わせ情報について(発生場所別)

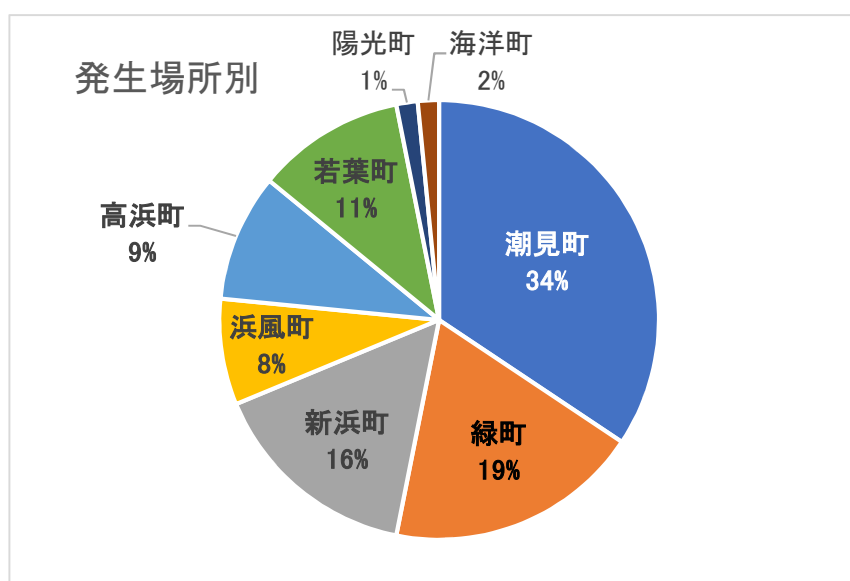
	発生場所	件数	主な現象	投入口(複数発生)
1	潮見町	22 件	バケット下にごみ詰り	12121、11063、12031、12011、12111、12051、12032
2	緑町	12 件	バケット下にごみ詰り	11051、11062、11031
3	新浜町	10 件	バケット下にごみ詰り	3071(5 件)
4	若葉町	7 件	カギ穴”開”の状態	8059
5	高浜町	6 件	カギ穴”開”の状態	5049
6	浜風町	5 件	バケット下にごみ詰り	3051、3031
7	陽光町	1 件	部品の劣化(電気)	—
8	海洋町	1 件	カギ穴引っ掛かり	—
7	合計	64 件		

● 潮見町:件数: 22 件、主な現象: バケット下にごみ詰り

潮見町は発生件数が最も多く、ごみ詰りが頻繁に発生しています。これは投入口の多さや使用頻度の高さが影響している可能性があります。複数回問題を発生している投入口の利用者への使用方法に関する教育が必要です。

● 緑町:件数: 12 件
主な現象: バケット下にごみ詰り

緑町では件数が潮見町の約半数ですが、同様にごみ詰りの問題があります。地区内の特定の投入口が問題を起こしているので、対策を講じる必要があります。



● 新浜町:件数: 10 件、主な現象: バケット下にごみ詰り

新浜町もごみ詰りの問題があり、特に一つの投入口で 5 件の問題が集中しています。この投入口の状況を確認し、必要に応じてごみの投入方法の注意喚起が必要です。

● 利用者からの問い合わせ内容に基づく具体的な対策案を3の提案

1. 利用者啓蒙プログラムの強化

啓蒙活動を通じて利用者の意識を高めるために、不適切なごみの捨て方やカギの取り扱いに関する啓蒙活動を強化します。具体的には、利用方法に関する分かりやすい図を含むパンフレットを配布し、正しい利用方法を周知します。更に、「あしやトライアングル」での「パイプラインの正しいごみの捨て方」等の放映を希望します。

2. 利用者へのアンケートの実施

パイプライン利用者のごみの捨て方などの認知度や意見を把握するためにアンケートを実施することを提案します。アンケートを通じて、利用者がどのような問題を経験しているか、また、どのような改善を望んでいるかを直接聞くことは、パイプラインのトラブルを防止するための貴重な情報を得ることができると考えます。

3. 月ごとの情報提供による迅速な対応

データの提供頻度を高めることで、トラブルや問い合わせの傾向を早期に把握し、必要な対策をより迅速に講じることが可能になります。これにより、問題が長期化することなく、問題の撲滅を向上させることが期待できます。そのために「利用者からの問い合わせ情報」は月1回のデータ開示を提案します。

● 巡回及び定期点検時に発見されたトラブル

	機器名	件数	原因	対応	労務費
1	バケット	9件	開閉しない	主に部品交換	28,000 円
2	カギ	7件	回らない	コインマスター交換 & 給脂	31,500 円
3	排出弁	5件	閉異常等	部品交換	26,000 円
4	貯留ドラム	5件	その他	部品交換	26,000 円
5	輸送管	1 件	浸水	部品交換	6,000 円
6	ブロワ	1 件	開異常	部品交換	6,000 円
7	マクリット	1 件	その他	部品交換	3,000 円
8	その他	1 件	その他	部品交換	6,000 円
	合計	30件			132,500 円

- 令和 4 年は 118 件、令和 3 年度には 183 件の問い合わせがありましたが、令和5年度には 30 件と件数は大きく下回っています。このことから、定期的な点検と迅速な対応が、機器トラブルの予防及び早期発見に効果を発揮していると考えられます。
- 令和 5 年度の特徴としては、定期点検により、パイプライン関連機器における複数のトラブルが発見され、迅速な対応がおこなわれています。点検結果として、合計 30 件のトラブルが確認され、それに対する対応として総額 132,500 円の労務費が発生しました。
- その中でも特に「バケット」の開閉不良が最も多いトラブルとして確認されました。この点に注目することで、特定の機器や部品の繰り返し問題を特定し、それらを中心に予防策を強化することが重要となります。
- 主なトラブルとしては、バケットの開閉不良が 9 件、カギの動作不良が 7 件、排出弁や貯留ドラムの異常がそれぞれ 5 件ずつ確認されました。これらの問題は、部品交換やコインマスターの交換、給脂によって対応しました。

今後も引き続き定期点検を厳密に行い、さらなる信頼性向上を図ることで、利用者が安心してサービスを利用できることをお願いします。

● コンピュータシステムが異常を発報したトラブル

	機器名	件数	状態	対応	労務費
1	遮断弁	20件	開閉異常と 伝送異常等	部品交換とごみ除去・清掃 等	42,300 円
2	排出弁	17件	開閉異常	ごみ除去・清掃と部品交換	33,300 円
3	スクリュウ	13件	レベル計に 汚れ付着	ごみ除去・清掃やレベル計調 整・清掃	11,300 円
4	貯留ドラム	12件	ブリッジや吞 込異常	ごみ除去・清掃や点検・確認	35,200 円
5	排出機弁	6件	開閉異常	部品交換やごみ除去・清掃	18,050 円
6	吸気弁	4 件	閉異常	部品交換やごみ除去・清掃	10,500 円
7	ブロワ	2件		点検・確認と部品交換	9,000 円
8	バケット	1 件	開かない	部品交換	3,000 円
9	分離機	1 件	その他	部品交換	4,100 円
10	その他	1 件	その他	ごみ除去・清掃	5,400 円
	合計	77件			172,150 円

コンピュータシステムによる異常発報を通じて、パイプラインシステム関連の複数機器にわたるトラブルが発見されました。これらのトラブルは合計で 77 件に上り、その対応には総額 172,150 円の労務費が投じられました。また、令和 4 年度は 99 件、令和3年度は 210 件でトラブルは減少傾向にあります。具体的には、

- ・ 遮断弁: 20 件の開閉異常や伝送異常が確認され、部品の交換とごみの除去、清掃が行われました。
- ・ 排出弁: 17 件の開閉異常に対して、同様にごみ除去と部品交換が施されました。
- ・ スクリュウ: 13 件でレベル計の汚れ付着が問題となり、清掃や調整が実施されました。
- ・ 貯留ドラム: 12 件のブリッジや吞込異常にごみ除去と点検が行われました。
- ・ 排出機弁: 6 件の開閉異常には部品交換と清掃が施されました。
- ・ 吸気弁: 4 件の閉異常に対して部品交換と清掃が行われました。
- ・ ブロワ: 2 件で点検と部品交換が必要とされました。
- ・ バケット: 1 件で開かないトラブルが部品交換により解決されました。
- ・ 分離機: 1 件のトラブルが部品交換で対応されました。
- ・ その他: 1 件のトラブルに対して、ごみの除去と清掃が行われました。

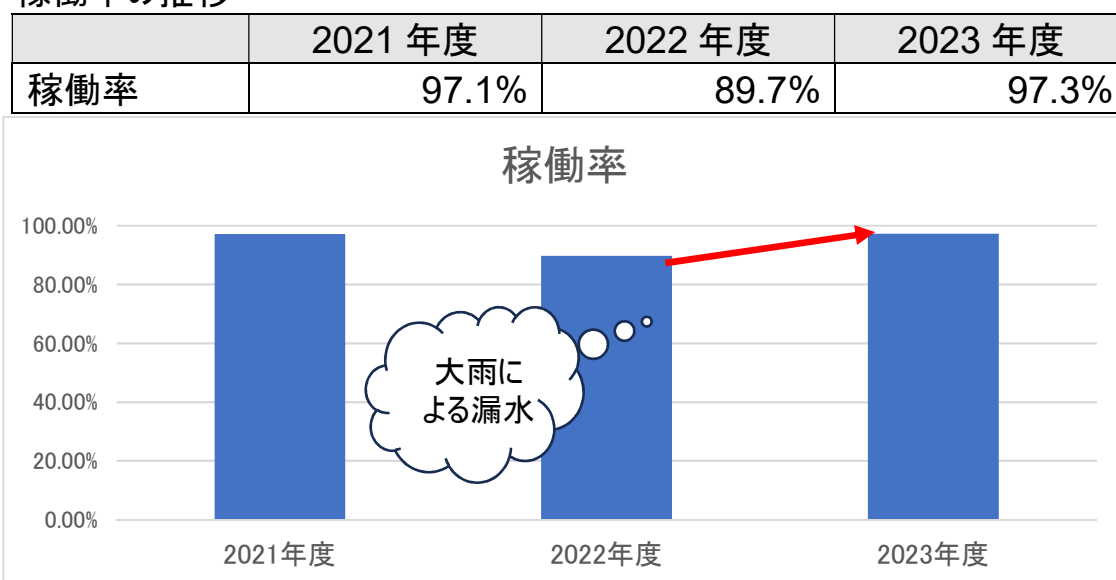
考察と今後の方針

これらのトラブルの多くは開閉異常や部品の故障が原因であり、定期的なメンテナンスと清掃がこれを防ぐ鍵となります。

2. パイプライン稼働状況報告

- 令和 5 年度のパイプライン稼働率について
令和 5 年度(2023 年 4 月～2024 年 3 月)のパイプライン稼働率は 97.3%となり、前年度の 89.7%から大幅に回復しました。これにより、現在のところパイプラインの健全性が維持されていることが示されています。

- 稼働率の推移



稼働率の変動は、自然災害や輸送管工事など、外部環境に大きく影響されます。特に 2022 年度の稼働率の低下は、梅雨や台風時期における大雨の影響が大きかったと考えられます。しかし、2023 年度は比較的大雨が少なかったことから、雨水の侵入が少なく、稼働率が向上しました。

- 輸送管工事による影響

2023 年度の輸送管工事によるパイプライン停止は全停止期間の約 3%を占め、主な工事地域は環境処理センター敷地内及び新浜町、浜風町、高浜町でした。これらの地域での工事は輸送管が集まるところを中心に計画的に行われ、稼働率への影響を最小限に抑えるよう努めています。

- 今後の展望

2023 年度のデータから、パイプラインの稼働状況は概ね安定していると評価できます。しかし、自然災害の影響を受けやすいことから、今後も定期的なメンテナンスと異常気象への対策が重要となります。特に梅雨や台風時期には、過去のデータを基にした予防策の見直しと強化を図り、稼働率の維持に努める必要があります。

3. マナー違反ごみ投棄

- 令和 5 年度の事象概要

令和 5 年度には、全 4 件のマナー違反によるごみ投棄が確認されました。これにより、パイプラインの運転が停止する事態が発生しました。過去 4 年間でも毎年同様の件数が発生しており、この問題の根絶が急務とされています。

- 具体的な発生事例

	発生日時	投入物	場所	写真
1	6月 27 日(火)	大型の布 (敷きパッド 120 cm×200 cm) 輸送管内で雨水を吸収してつまった。	緑町3	
3	8月 21 日	雑誌類 輸送管がつまる。	高浜町 2-1	
2	8月 28 日	大量の衣類 内部のスクリーフィダーに噛みこみ異常停止。	緑町1	
4	9月 1 日	大量の石 高速で石が輸送管内で吸引されると経年劣化している輸送管は大変傷む。	高浜町 2-2	

- 利用者起因によるパイプライン詰まり「ZERO」期間

2023 年度は運転継続期間 253 日 利用者起因によるパイプライン停止 1 回

- 現状の対策と評価

芦屋市および利用者の会によって以下の対策が取られています。

- ・ 芦屋市：注意喚起のポスターの設置、現物展示、メールによる利用者の会への連絡。
- ・ 利用者の会：組織へのメール連絡、会内での注意喚起、ホームページへの記載、年次報告書の全戸配布を通じた啓蒙活動。

これらの対策は一定の効果を発揮しているものの、依然として毎年同じ件数のマナー違反が発生していることから、さらなる改善策が必要です。

パイプラインに替わるごみ収集方法の基本ロードマップ(Vol.3)

～行政と市民による代替案の作成～



令和 6 年 6 月

ゴミパイプライン協議会

●背景・目的

現在のパイプライン施設を代替施設にスムーズに移行するための詳細な計画案を作成（目的達成のための見える化）する。具体的には、移行のために何をすれば良いか、どんなことが障害になるのか等、スケジュールを含めた全体像を理解するためにロードマップを作成した。そうして、このロードマップを利用して芦屋市と市民が協業して代替案を作成するための土台づくりをおこなう。

●作成理由

目標を確実に実現するため

- ① ロードマップで利害関係者がいつ何をすれば良いか、どんなことが障害になるのかといった全体像を把握することができる。
- ② これからの行動を頭だけではなく、視覚的にも理解ができるので、どうすれば良いのかを明確に理解できる。

●ロードマップ作成の効果

- ① 常にあるべき方向性を確認する羅針盤となる。
- ② 利害関係者間の共通土台を築き、考えを共有し合意形成の道具となる。
- ③ 行き当たりばったりするのではなく、ロードマップで目指す明確なゴールを描き、そのゴールに辿り着くための道筋をちゃんとたてることで、足並みを揃えて利害関係者に納得してもらうことができる。
- ④ 次世代へのスムーズな引き継ぎ。

●期間：2020 年（令和 2 年）8 月～2030 年度末（令和 12 年度末）

●フェーズ

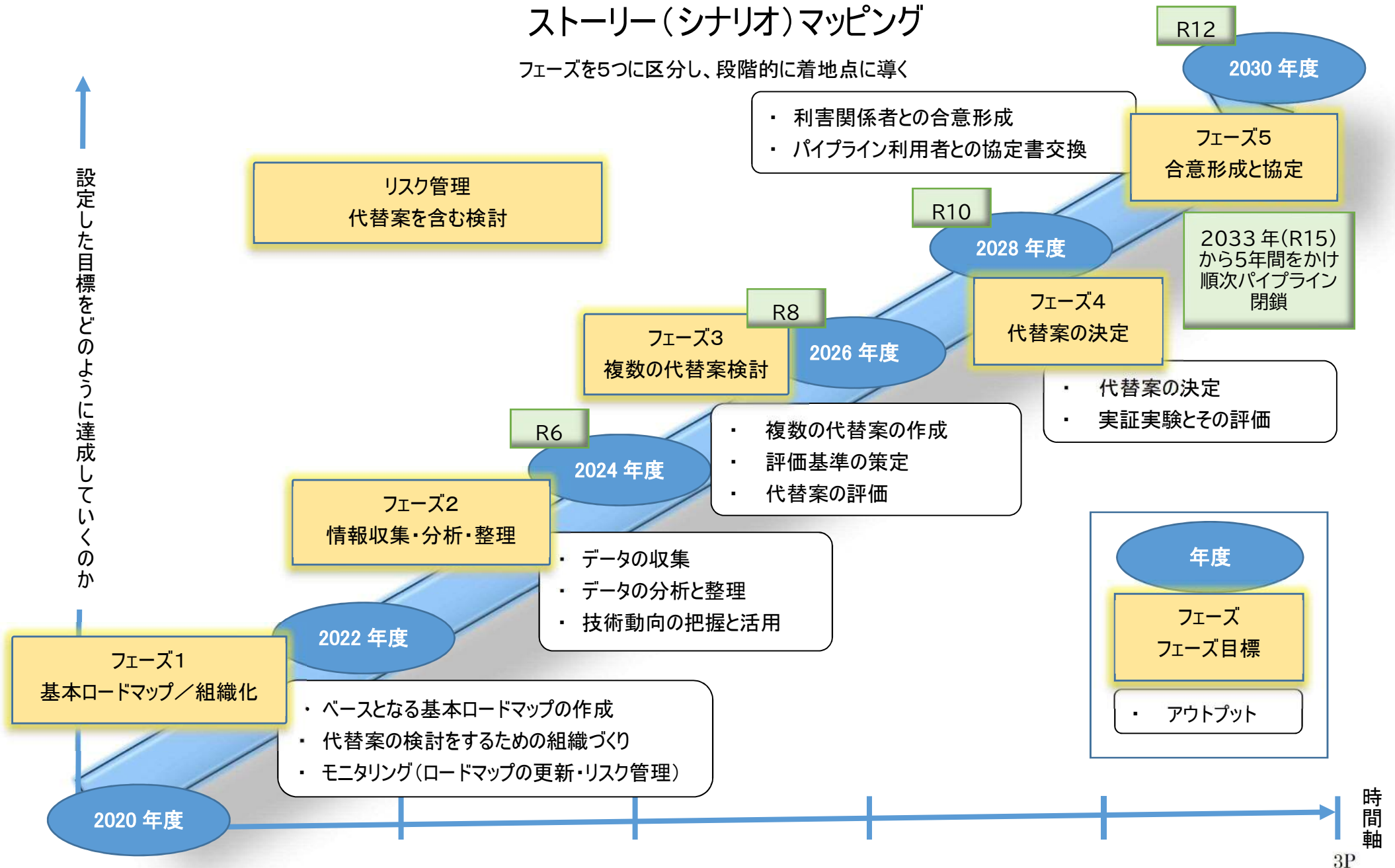
- ① 基本ロードマップ／組織化
- ② データの収集・分析・整理
- ③ 代替案の検討
- ④ 代替案の決定
- ⑤ 合意形成と協定
- ⑥ 災害対策

●費用

ロードマップに関する費用は、毎年ゴミパイプライン協議会で必要に応じて協議し計上する。
なお、このロードマップは1年に1回は見直しをおこない、協議会の承認で更新をおこなう。

ストーリー（シナリオ）マッピング

フェーズを5つに区分し、段階的に着地点に導く



●ロードマップ 詳細

	フェーズ	何をするのか	想定される具体的な検討項目	進捗度 (○、△、 ×、済)
1	ロードマップ／ 組織化	・ ベースとなる基本ロードマップの作成 (ロードマップに意味があるのではなく、それを作る過程にこそ意味がある) ・ モニタリング(進捗管理) ・ 軌道修正(ロードマップの更新)	・ どのようなロードマップを作成するのか ⇒フェーズの進捗および課題を抽出・解決していくロードマップ。 ・ 誰が作成するのか ⇒芦屋市および利用者の会が修正していく。 ・ モニタリングの方法は ◆ 進捗管理 ◆ ロードマップの更新 ⇒ワーキンググループで、各フェーズや各課題の進捗を確認し、更新していく。最終的に年度末の協議会にて、更新を承認し、次年度に進む。 ・ リスク管理をどうしていくのか ⇒別紙「ロードマップ リスク・課題管理」参照。	済 済 継続 継続
		・ 組織(体制)をつくる(チームづくり) ・ ワーキンググループの必要性を検討する(フェーズごと) ・ 利害関係者の組織化をどうするのか	・ 組織のメンバーは？ ⇒ワーキンググループで実行 ・ 組織の年齢は大丈夫か ⇒別紙「ロードマップ リスク・課題管理」参照。 ・ 次世代への引き継ぎをどうするのか ⇒別紙「ロードマップ リスク・課題管理」参照。 ・ フェーズごとの組織化が必要か ◆ 調査ワーキンググループ ◆ 設計積算ワーキンググループ ◆ 収集事業課の参画 ◆ 道路課との協議	済 継続 継続

			- 外部人材の導入 - 環境処理センター長期包括的運営業務についての影響 ⇒別紙「ロードマップ リスク・課題管理」参照。	継続
2	情報収集・分析・整理	- 情報収集の目的の明確化 - データ収集の方法の検討(どのようなデータを、どこから、どのように収集するのか) - 技術動向をどのように把握・活用 - 情報の分析・整理	- 収集データの決定(現地、アンケート調査) - 定量データ(人口、世帯数、人口予測、ごみ投入量等) - 定性データ(利害関係者のニーズ把握等) - 住宅形態別 ⇒別紙「」参照。 - 役立つデータとはなにか、どのように収集するのか ⇒別紙「」参照。 - データは入手先の範囲(国内・国外) ⇒別紙「」参照。 - 市場・製品・技術動向をどのように収集・評価するのか ⇒別紙「」参照。 - 西宮市とのごみ処理施設の広域化の影響 ⇒西宮市との広域化は、2020年度末に無しとなった。 - 地下の状態把握(配管・雨水・海水等) ⇒状況把握の必要はなくなった。	継続 継続 継続 継続 済 済
3	複数の代替案の検討	意思決定の対象となる代替案をより多く持つことは、より良い意思決定をする可能性を高めることにつながる - 複数代替案の作成 - 代替案同士の比較 - 現況(パイプライン)との比較評価 - 代替案の評価基準の作成	- 代替案の必要評価項目(どんな機能が必要なのか) - それぞれの代替案のメリット、デメリット - それぞれの設置・導入費用 - コスト分析や試算作成(設置・オペレーション・メンテナンス・ごみ収集・長期コスト等) - 利便性分析(パイプラインとの比較) - 実現性、将来性などの分析 - 住宅形態(高層、中層、タウンハウス、戸建て)別 - アドレス別課題 - 芦屋市ごみビジョン(市内全域とのバランス)との調整 - 設置場所の選定(利便性、収集車の通行や停止場所など)	

			◆ 収集回数 ◆ デザイン性 ◆ 安全性分析(利用者、収集作業、メンテナンス等) ◆ 環境評価 ◆ 災害リスク分析時(台風、大雨、高潮、津波、地震) ◆ 将来発生する課題予測 ◆ 道路、歩道の安全性及び幅員確保 ◆ 他地域への影響 ◆ 住民アンケートの結果 ◆ ごみ収集との調整 ▪ 評価基準(点数方式、＋－方式等)	
4	代替案の決定	▪ 複数の代替案の中から最終案の集約・決定 ▪ 実証実験の実施と結果	▪ モデル地区での実証実験とその評価 ▪ 代替案の最終選択 ▪ 市長へ報告 ▪ 利用者への説明 ▪ パイプライン地域以外の市民への説明 ▪ 市議会への報告 ▪ 予算化	
5	合意形成と契約	▪ 利害関係者との合意形成 ▪ パイプライン利用者との協定書作成	▪ 市長承認 ▪ 議会承認(条例化) ▪ 協定書作成 ▪ 各管理組合又は自治会との協定書による合意	
6	リスク管理	▪ ロードマップにそった検討を進めることと並行して、近年の強力な台風や豪雨の多発など自然災害リスクは高まっていることを鑑み災害対策の検討をおこなう。 ▪ 自然災害の発生を想定したうえで適切で可能な限りのパイプライン施設の事前対策を検討することによって被害の防止や軽減を図る。	▪ 予想される災害情報を入手・把握 ▪ 被害想定 ▪ 災害発生時の対応案の作成 ◆ 緊急対応手順の整理 ◆ ごみ収集の代替手段案の検討を含む復興計画の策定 ◆ 組織体制や情報管理	

		・ 阪神淡路大震災の経験を踏まえると、焼却炉、パイプライン(センター)、パイプライン(ローカル)は1年ほど補修と復旧に時間を要する。また、パイプライン施設は水害で使用できなくなる可能性もある。そのためパイプライン施設にかわる代替案を含めた復興の検討も必要となる。	・ リスク管理で学んだこと、経験をロードマップに活かす	
--	--	---	---	--

ゴミ収集パイプライン利用者の会の 2024 年度の活動目標

●目標概要.

- 1.利用者起因のパイプライン停止を「ZERO」に
- 2.情報共有の充実
- 3.代替案の継続的検討
4. CO2 削減とごみの減量化

●詳細目標と施策.

1. 利用者起因のパイプライン停止「ZERO」

- ・2023 年度に発生したマナー違反を受け、啓発・啓蒙活動を強化。
- ・「令和 6 年度パイプライン年次報告」を作成し、全戸へ配布。
- ・昨年度検討した投入口のごみ詰まり対策を実施。

2. 情報共有の充実

- ・交代する会員向けの円滑な引継きをサポート。
- ・月報および活動報告書を作成し、定期的に配布。

3.代替案の継続的検討

- ・「ごみカート」を重要な代替案として引き続き検討。
- ・投入口別ごみ量の把握や新しい代替案の設置に関する制約条件の明確化。
- ・必要に応じて収集事業課の参加を依頼し、新たなごみ収集ルートを検討。

4. CO2 削減とごみの減量化

- ・TMES と協力し、2030 年の脱炭素目標達成に向けてパイプライン運転方法の変更を通じた CO2 削減 20%を目指す。
- ・食品ロス撲滅に向けたワークショップなどでの検討結果を実行に移す。

●締めくくり:

2024 年度の活動目標を着実に達成するために、会員一同が力を合わせ、相互に協力し合いながら、パイプラインの条例化期間までの維持を目指します。

令和 6 年度活動の目標

芦屋市

1 代替収集の検討（フェーズ 3）

令和 6 年度となり、ロードマップでは、いよいよフェーズ 3 に突入しました。

検討項目は、「複数の代替案検討」で、内容は、「複数の代替案の作成、評価基準の策定、代替案の評価」となります。

これらの検討項目を引き続き、「ごみカート」を柱に、複数の代替案の作成を行います。芦屋市廃棄物運搬用パイプライン施設の運用期間を定める条例にもございますが戸建てやマンション等の住宅形態に応じて、検討する必要もございますので既に使用されているごみ収集方法（ごみボックスなど）も必要に応じて、話し合っていきます。

フェーズ 3 で行う「複数の代替案の作成、評価基準の策定、代替案の評価」はこれまで以上に時間がかかりますが、適宜、利用者の会とスケジュール管理を行いながら、進めていきます。

また、必要に応じて、環境施設課だけでなく、道路・公園課や収集事業課など公的機関の意見をワーキンググループ等で反映するようにしていきます。代替施設の維持管理等の運用について、利用される市民の皆さんで行うことになります。

フェーズ 4（代替案の決定）での実証実験につながるフェーズ 3 にしていきます。

2 運転方法の変更に伴う CO2 削減

昨年 3 月から運転方法の変更を行ってきましたが、令和 5 年度は、試行錯誤の中、パイプラインの利用者の利便性とのバランスがあり、4 回も変更することになりました。

今後は、パイプラインの利用者の利便性と CO2 削減効果のバランスも見ながら、運転方法の変更に伴う効果（メリット・デメリット）等を TMES と協力して、ワーキンググループ等で話し合っていきたいと思います。

TMES

1, 安定稼働への貢献

定期点検で不具合対応を行い、異常発生を未然に防ぐ等、システム異常や問い合わせ件数を減らせるように努め、安定稼働に貢献してまいります。

2, CO₂排出量の削減

令和 5 年度同様に環境への取り組みとして CO₂排出量の削減として、電気使用量を減らす運転方法のご提案を継続させていただきます。

今後も利用者の会と芦屋市と連携して社会貢献に取り組んでまいります。